



- 体育会名: 関西学院大学体育会ボート部
 - 創部年:
 - 2025年度会員数: 64人(4年15人、3年10人、2年22人、1年17人)
-
- 同窓倶楽部名: 関西学院大学体育会ボート部同窓倶楽部
 - * 関西学院同窓会 公認団体
 - 同窓倶楽部通称:
 - 設立年:
 - 会員数:
-

ボート部のルーツは1893(明治26)年の端艇(ボート)を購入したことまでさかのぼる。活動の中心は原田の森キャンパスの真南にある美しい浜、「敏馬(みるめ)浦」であった。艇の損傷などによって、1919年にいったん廃部となるが、戦後の47年に活動を再開した。

48年に関西選手権シェルフォアで優勝。その実績を認められ、漕艇部として運動総部に復帰、翌年も連続優勝を成し遂げた。61年には全日本選手権エイトで3位入賞の快挙を果たした。

その間、51年には全日本選手権でケンブリッジ大と、59年には関西選抜レガッタでオックスフォード大と対戦。64年東京五輪の予選に出場するなど、関西の雄としての地歩を築いた。

その後、73年と76年に朝日レガッタのエイトで優勝するが、関西および全日本選手権では幾度となく準決勝、決勝と駒を進めるものの、優勝は果たせていない。

2001年には、初の女子選手が入部した。03年朝日レガッタのシングルスカルで準優勝、全日本選手権では6位入賞を果たし、女子選手の礎が築かれた。

練習拠点は1969年の淀川艇庫焼失以来、桜ノ宮大川、琵琶湖瀬田川などを転々としたが94年、神崎川に待望の艇庫が完成(関大、甲南大との3大学共用)。現在のボート競技はエイト、フォア一、ペア、シングル等種目数も増え、部員数も増加、各種目での選手権上位進出を目指して、日夜練習に励んでいる。